

そよかぜだより

2016 12月号

十二月（師走）

十二月に入り、今年も残すところあとひと月となりました。街中はレッドやグリーン、たくさんライトで彩られ、クリスマスソングが聞こえ、心弾む季節ですね。

クリスマス、忘年会、新年会とお酒を飲む機会や外食が増える時期ですので、暴飲暴食などお気をつけください。

今年を振り返り、立っていた今年の抱負などを思い出されませんか、皆さんはどんな一年だったでしょうか？充実した一年をすごされましたでしょうか。

今年、一年ありがとうございました。また、来年もよろしくお願いたします。それでは、よいお年をお迎えください。



駐車場の増設のお知らせ

駐車場を増設いたしました。今回従来の駐車場スペースに加え、約15台の駐車スペースになりました。来年1月よりご利用いただけるようになります。



先天性疾患の処置

今回は出生時に見られる奇形あるいは先天性疾患について書いてみたいと思います。多くみられるものとして①先天性欠如歯（生える歯がない）、②癒合歯、癒合歯（二本の歯がくっついて生えてくる）、③歯の形態不全（エナメル質が薄く一部がない）、④歯が割れている（唇裂）上あごがくっついて割れている（顎口蓋裂）などがあります。

①歯そのものの欠如に関しては、その後の永久歯が有無によっても変わりますが、最終的に永久歯列になってからブリッジ、義歯、インプラントなど人工的に歯を造り、噛めるようにしますことが多いです。

②癒合歯、癒合歯に関しては、乳歯そのものは悪影響がない限り、処置は行わずに永久歯に異常があるか経過を観察します。永久歯が同様の症状を表すのは50%と言われています。永久歯に癒着、癒合がある場合は機能的、審美的要求に応じて治療を必要とする場合があります。

③歯の形態不全に関しては正常の歯の形態、機能に合うように人工物で補ってきます。

④唇裂、口蓋裂に関してはお口の中の機能だけではなく、発音、耳鼻科領域の疾患や口呼吸、呼吸器系に異常をきたす場合があります。そのため、早期治療を要します。口蓋裂では、生後3、4ヶ月で閉鎖術（くっつける手術）を行います。口蓋裂では1歳半〜2歳にかけ、口蓋形成術（上あごを作る手術）を行います。さらに両者とも発音異常をきたす場合があります。スピーチエイドという器具を装着し、機能回復を、さらに摂食訓練も平行して行います。



口唇裂の症例写真



口蓋裂の症例写真



ポインセチア



この時期になると皆さんもよく目にすると思います。ポインセチアはクリスマス時期によくでまわるので、冬の花だと思われがちですが、メキシコ産の暑い地方の植物なので、寒さには弱いのです。気温が10℃以下になると、枯れてきてしまうそうです。また、赤い花のように見える部分は、実際は苞葉といって花を保護するものだそうで、花は上についている、小さい黄色い粒の部分です。

お部屋に置くだけで、華やかに彩ってくれるでしょう。ぜひ、飾ってみてはいかがでしょうか。

院長のこ

そよかぜ歯科医院も平成二十九年一月九日で一〇周年を迎えます。あっといふ間の一〇年間というのが率直なことです。沢山の方にご利用して頂きありがとうございます。

一〇周年を記念して、当医院の駐車場を約八台増設いたしました。いままで駐車場スペースを七台確保しておりましたが、手狭なため皆様にご迷惑をおかけしたかと思えます。現在の駐車スペースの奥側に隣接しておりますのでご利用してください。年明け一月から利用可能となります。よろしくお願いたします。

今年も残りわずかになりました。寒い日が続き、乾燥もしております。インフルエンザ、ノロウィルスの流行も耳にしますが、お身体をご自愛ください。

開院10周年を迎えるにあたり、駐車場を増設いたしました。今回従来の駐車場スペースに加え、約8台分の駐車スペースを奥側に設けました。来年1月よりご利用いただけるようになります。増設することにより、混雑時、皆様にご迷惑をおかけすることを少し解消できるかと思えます。